

学生団体WAKA×YAMA主催「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2023」

シンポジウム開催

2023年10月15日（日）和歌山城ホール



2023年度キックオフ集合写真

アドベンチャーワールド(和歌山県白浜町)は、和歌山県の様々な社会課題解決に取り組む学生団体WAKA×YAMAが主催する「～若者から作る、周産期うつのない未来～」をテーマにしたアイデアソン「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2023」(以下アイデアソンとする)に協賛しています。プログラムの集大成として、参加チームがアイデアのプレゼンテーションを行うシンポジウムが10月15日（日）に和歌山城ホールで開催されます。

「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2023」開催概要 <http://wakaxyama.jp/>

アイデアソンでは、和歌山県内の中高生がチームを作り、県が抱える社会問題に対して課題を設定し解決策を考案します。プログラムの初日となる2023年8月6日にはアドベンチャーワールドを舞台にアイデアソンの中で用いる「デザイン思考」という思考様式について、フィールドワークやワークショップを通して楽しく学びました。その後、約3ヶ月間のプログラムで「～若者から作る、周産期うつのない未来～」をテーマに、専門家や当事者などへのインタビュー調査、ワークショップなどを実施し、周産期うつにおける課題解決のために、アドベンチャーワールドのスタッフも伴走しています。



キックオフプログラム開催の様子

主催 : 学生団体WAKA×YAMA
 日時 : 2023年8月6日（日）～10月15日（日）
 対象 : アイデアソン参加者(選考を通過した和歌山県の学校に通う中高生29名)
 テーマ : 「～若者から作る、周産期うつのない未来～」

「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2023」の集大成！シンポジウム開催概要

シンポジウムでは、周産期うつをテーマに子育てにおける課題解決を目指し、和歌山県の中高生がヒアリングやワークショップを通して見出した課題と解決策となるアイデアのプレゼンテーションを実施いたします。パークを運営する株式会社アワーズ（大阪府松原市）の代表取締役社長 山本 雅史がアイデアソンの特別審査員として参加し、サポーターと学生団体WAKA×YAMA創設者によるトークセッションにも登壇いたします。

主催：学生団体WAKA×YAMA

日時：2023年10月15日（日）午後0時30分～午後5時00分（受付：正午～）

会場：和歌山城ホール 大ホール

参加費：無料

定員：600名

プログラム

午後0時30分 開会

午後0時45分 中高生によるプレゼンテーション

午後2時40分 若者みらい会議 in WAKA×YAMA

これからの子育てや周産期うつについて若者たちと豪華ゲスト、当事者が話し合います

午後3時55分 WAKA×YAMAの放課後～つれもて語ろ、10年後の未来～

和歌山県にて活躍するゲストとWAKA×YAMAの創設者によるトークセッション

午後4時25分 表彰式

午後5時00分 閉会

「WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2023」にスポンサーとして協賛

アドベンチャーワールドはアイデアソンのスポンサーとして協賛しています。中高生のアイデアを地域で実践し持続的に課題を解決するサポートをしております。

○学生団体WAKA×YAMAについて <http://wakaxyama.jp/>

「若者のアイデアで病いをなくす」をモットーに、和歌山県における社会問題に対して持続可能な解決策を生み出すべく活動しています。主な活動として、和歌山県の中高生を対象に約3ヶ月かけて課題解決に取り組むWAKA×YAMA SUMMER IDEATHONを開催しています。

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

